



この度は「貫通配達ユニット」をお買い上げ頂きありがとうございました。  
 取り付け前にこの施工説明書をよくお読み頂き、安全にご注意のうえ正しく取り付けを行ってください。  
 ご使用前には取扱説明書を必ずご覧ください。  
 お読みになった後は大切に保管してください。  
 (取り付ける方と使用される方が違う場合は、必ず取扱説明書を使用される方にお渡しください。)



**安全上のご注意 必ずお守りください**

ご利用の方や他者への危険・損害を防止するための重要な内容ですので必ずお守りください。

●説明を無視した使用方法によって生じる(危険や損害の程度)を次の表示で区分し説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「死亡や重大な事故が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「ケガや物的損害が想定される」内容です。

●お守りいただく(内容の種類)を次の絵表示で説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は「禁止」の内容です。
	このような絵表示は必ず行う「強制」の内容です。

**警告**



- 危険な高さ及び極端に高い所、低い所には設置しないでください。
- 製品の改造、分解はしないでください。

**注意**



- 固いものを当てたり、強い衝撃を与えないでください。  
表面にキズを付けますと、変形の原因となります。
- リシンなどの塗料はかけないでください。  
塗装が剥がれたり、変色の原因となります。
- ホースなどによる直接の水洗いは、しないでください。  
故障や水漏れ、水たまりの原因となります。
- 受取扉をぶつかけたり、こすったりしないでください。
- 高熱電源を近づけないでください。  
ストーブやアイロンなどの高温物や高熱電源の器具を接触させたり、近づけすぎたりしますと受取扉の変形やガラスの熱割れ現象が発生しますので、受取扉と熱器具類の位置や距離には充分注意してください。
- ガラスの熱割れにご注意ください。  
次のようなことをすると、ガラスに熱をこもらせて「熱割れ」の原因となります。
  - ・ガラスの内側に紙などを貼ったり、ペンキなどを塗ること
  - ・ストーブ等の放射熱を直接ガラスに当てること
  - ・カーテン、タンスなどをガラスに密着させること



- 宅配ボックスの扉の開閉操作が十分に行なえる場所に設置してください。
- 本体に「ねじれ」が生じると、扉や錠前の故障の原因となりますので注意して取り付けてください。
- 施工時の汚れ落としは中性洗剤をご使用ください。  
シンナー、ベンジン、みがき粉、タワシなどを使用すると変色、キズなどの原因となります。
- 設置後に、ねじ類の締め具合をもう一度点検してください。  
接合強度不足による破損や思わぬ事故の原因となります。
- 設置後に、周囲で工事がある場合は製品に養生を施してください。  
特にタイルの洗浄液や工事による鉄の削屑が付着しないようご注意ください。
- 受取扉は樹脂製のため、下地の精度によってゆがみます。  
しっかりと下地を組んでください。

**製品内容(取付前に各パーツがそろっていることをご確認ください)**

- |         |            |            |            |           |
|---------|------------|------------|------------|-----------|
| ・本体:1個  | ・受取扉:1個    | ・パネル(上):1枚 | ・ねじセット:1袋  | ・取扱説明書:1枚 |
| ・ダクト:1個 | ・サイドパネル:2個 | ・パネル(下):1枚 | ・パッキン:1ロール | ・施工説明書:1枚 |

## 製品の取付方法

### 大工工事

#### 【1】下地を組みます。

※下地の材料は厚み30mm以上の木材を推奨します。

柱を加工する場合は適切に枠を作成してください。

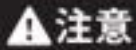
住宅の強度に影響する場合があります。

※「受取扉」は樹脂製のため、下地の精度によってゆがみます。  
しっかりと下地を組んでください。

※下地内側寸法より2mm程度、大きくしてください。

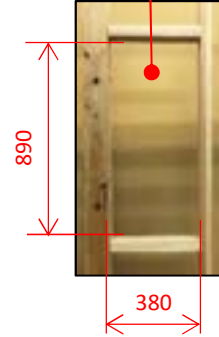
#### 【2】下地が適切に組めているか以下の点を確認します。

- ・枠の寸法がW380xH890になっているか
- ・枠の鉛直、水平が取れているか



以上が守られていないと、屋内側のサッシ扉に隙間ができる可能性があります。

下地内側寸法  
W380×H890  
※下地内側寸法より2mm程度、大きくする



### 外壁工事

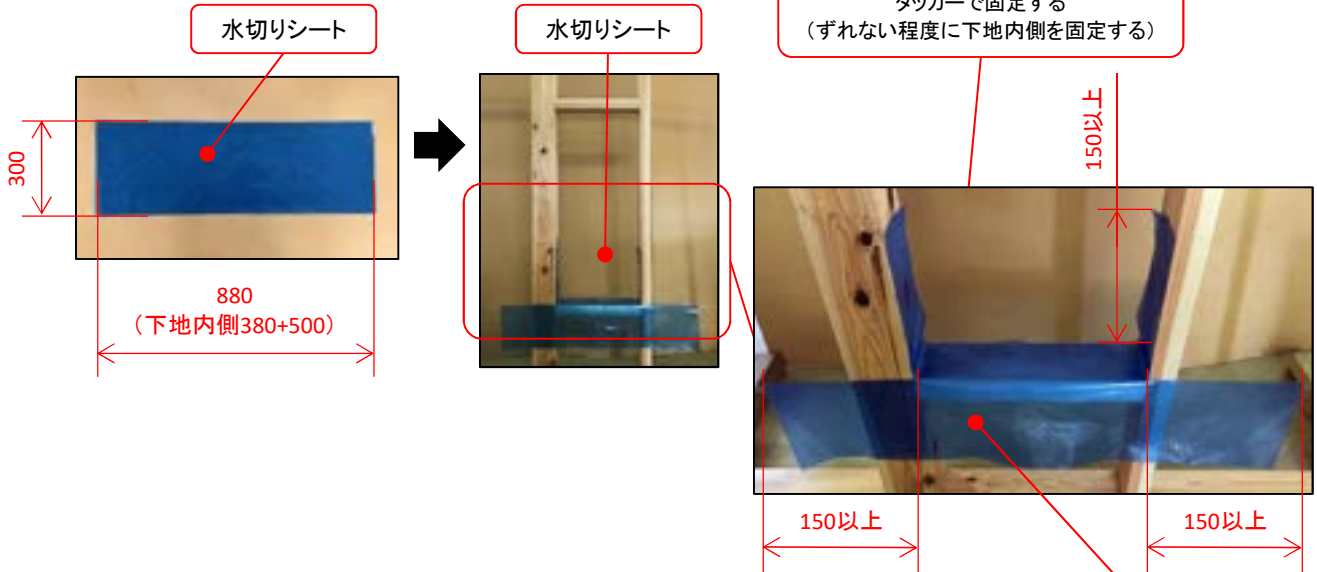
#### 【3】屋外側から下地に水切りシートを固定します。

・水切りシートは下地内側を固定します。

※正面の水切りシートは防風シート(透湿防水シート)を差し込むため、固定しません。

※水切りシートの端部を切り過ぎた場合は防水テープで補強してください。

(ピンホールが出来ない様にご注意ください)



※端部を切り過ぎた場合の防水テープ補強

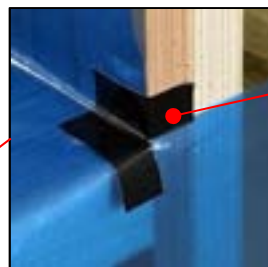
正面はタッカーで固定しない  
※防風シートを差し込むため



切り過ぎた部分



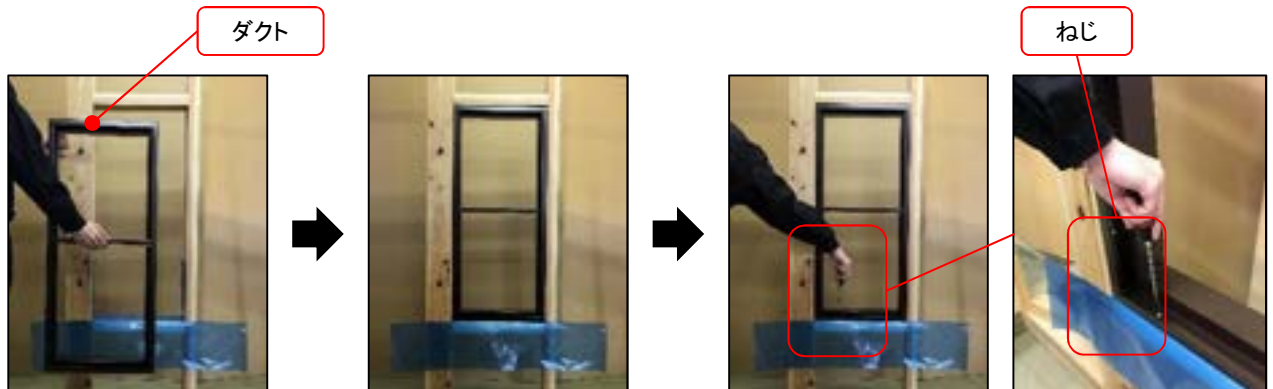
防水テープで補強する  
※ピンホールが出来ない様にご注意ください



防水テープ

## 大工工事

【4】下地枠内側に「上」マークのある方を上に向け屋外側から「ダクト」を置き、下地面と「ダクト」面を合わせてねじで固定します。  
ねじは左右4本ずつ、上下2本ずつ、合計12本で固定します。

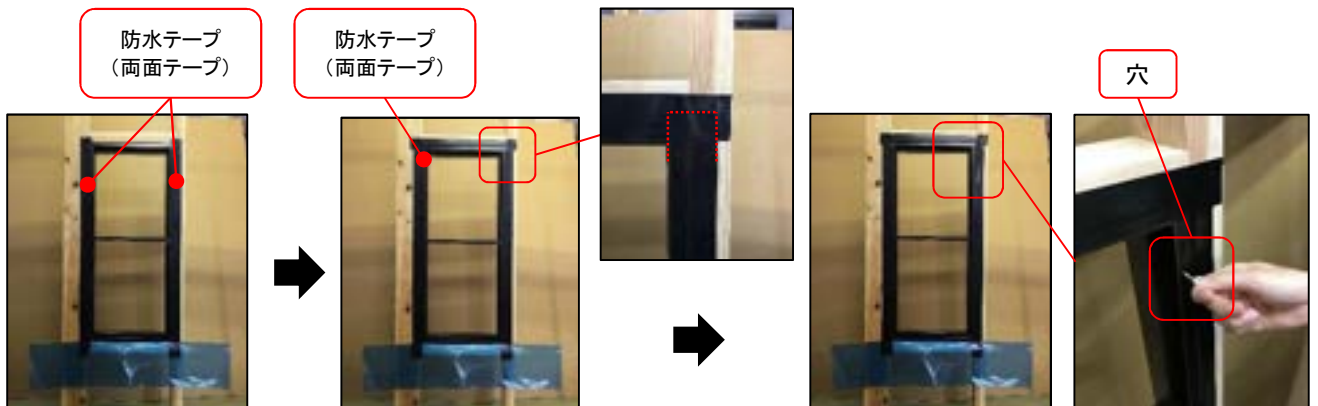


①下地枠内側に「上」マークのある方を上に向け「ダクト」を置く

②下地面と「ダクト」面を合わせてねじ固定する

## 大工工事

【5】下地面と「ダクト」の平らな面を防水テープ（両面テープ）で隙間がないよう3辺貼り付けます。  
防水テープの貼り付け手順は「ダクト」左右を貼り付け、最後に上を貼り付けます。  
「ダクト」のねじ穴を見えるように防水テープに穴をしっかりと開けます（左右4本ずつ）  
※防水テープは隙間がでないよう3辺しっかりと貼り付けてください。  
※防水テープにしっかりと穴を開けないと「本体」がねじで固定できません。



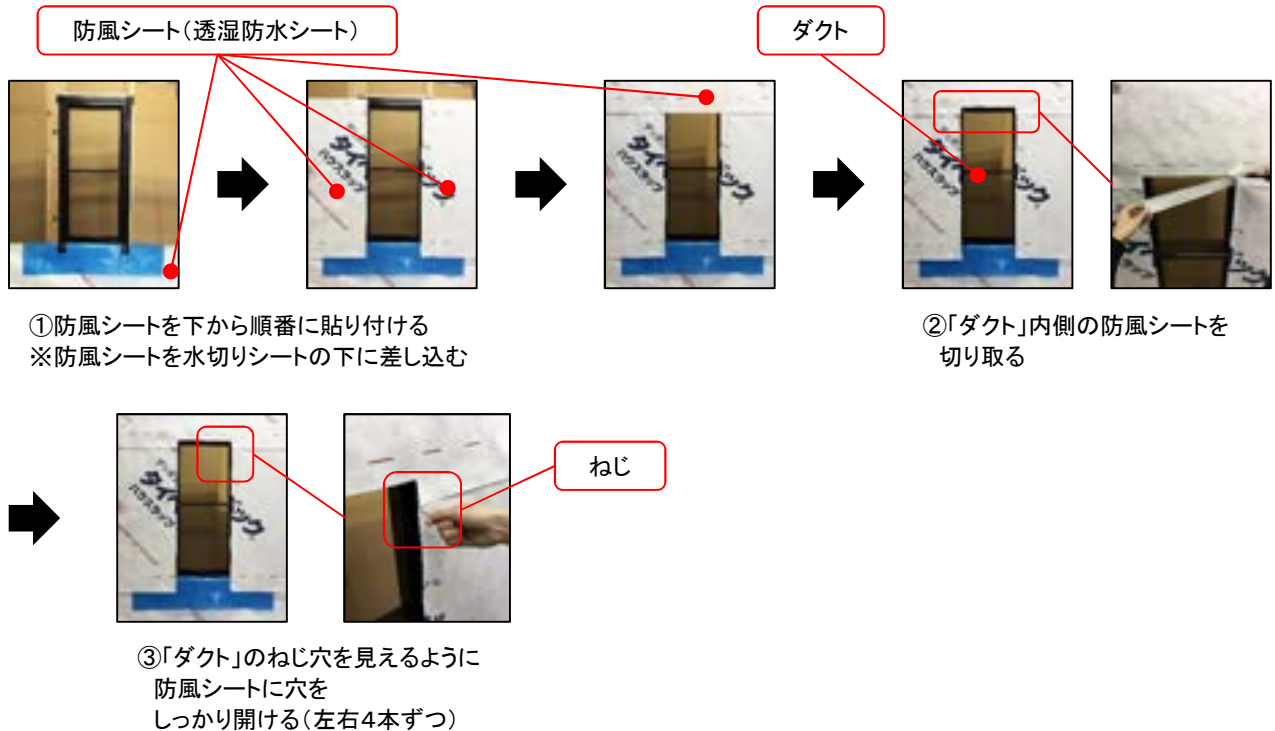
①左右に防水テープを貼る

②上面に防水テープを貼る  
※左右の防水テープが上面の防水テープからはみ出さないこと

④「ダクト」のねじ穴を見えるように防水テープに穴をしっかりと開ける（左右4本ずつ）

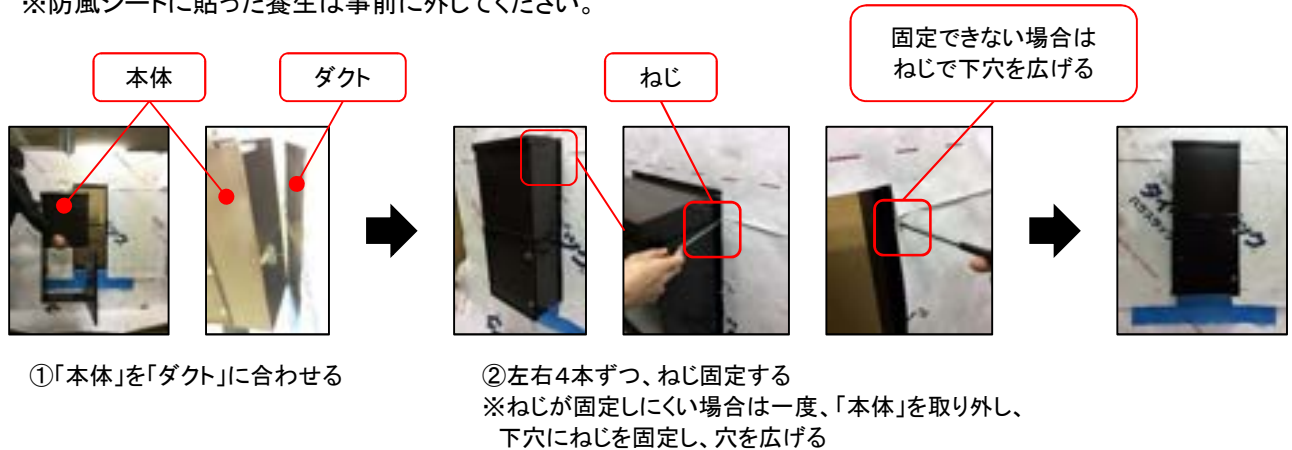
## 外壁工事

- 【6】屋外側に防風シート(透湿防水シート)を下から順番に貼り付け、「ダクト」内側の防風シートを切り取ります。  
 「ダクト」のねじ穴を見えるように防風シートに穴をしっかりと開けます(左右4本ずつ)  
 ※水切りシートにかかる防風シートは水切りシートの下に差し込みます。  
 ※防風シートにしっかりと穴を開けないと「本体」がねじで固定できません。  
 ※防風シートに開いた開口部から雨水が入らないように養生してください。



## 大工工事

- 【7】外壁を貼る直前に「本体」を「ダクト」に合わせ、左右4本ずつねじで固定します。  
 ※「本体」を固定するねじは防水テープの種類によって固定しにくい場合があります。  
 ねじを一度仮に固定してから再度、「本体」を固定してください。  
 ※「本体」の固定は電動ドライバーを使用しないでください。  
 ※ねじが固定しにくい場合は一度、「本体」を取り外し、下穴にねじを固定し、穴を広げてください。  
 ※投入扉は右吊元となります。  
 左吊元はできません。(鍵が対応しておりません)  
 ※防風シートに貼った養生は事前に外してください。



投入扉は右吊元となります。  
 ※左吊元はできません。  
 (鍵が対応しておりません)



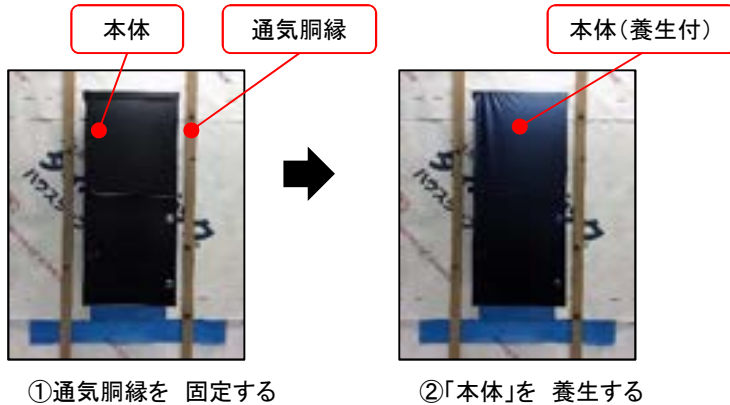
投入扉(左吊元)





## 大工工事

【8】通気胴縁を固定し、外壁が貼り終わるまで「本体」にキズや破損がないよう養生してください。  
※「本体」の養生は厚みのあるビニールやダンボールなどをお使いください。



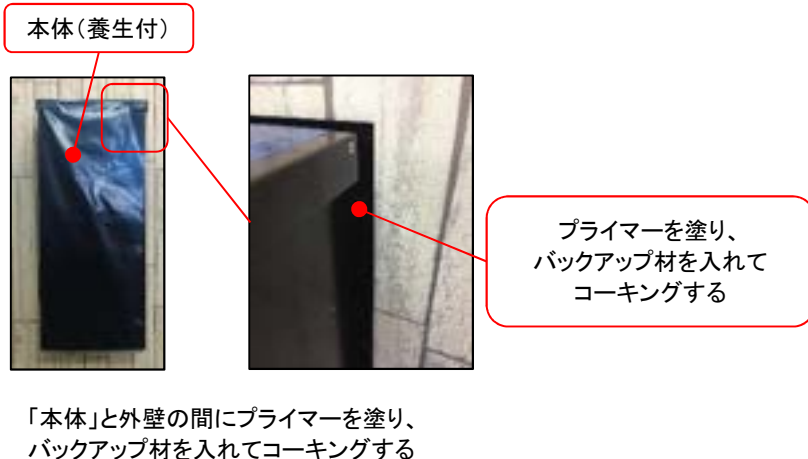
## 外壁工事

【9】「本体」周辺に外壁を貼ります。  
※外壁の開口寸法はW380×H890となり、下地内側寸法と同じです。  
「本体」よりも大きな開口となりますが、万が一、「本体」に破損などが発生した場合はねじを外して交換するために必要な寸法です。



## 外壁工事

【10】「本体」と外壁の間にプライマーを塗り、コーキングします。  
※コーキングのバックアップ材は適切なサイズをご使用ください。  
適切でないとコーキングが切れたり、流れてしまう場合があります。  
※養生を外し、再度、養生を貼り付けてください。



## 大工工事

【11】「本体」左右にツバを手前にして「サイドパネル」を固定します。

※「サイドパネル」は左右共通です。

まず始めに屋外側から宅配ボックスの扉を開き、宅配ボックスの内部に「プッシュリベット」で固定します。

次に「サイドパネル」をポストフタ部分に養生テープで仮固定して、屋内側からポスト内部に

「プッシュリベット」で固定します。

固定後、養生テープをはがします。



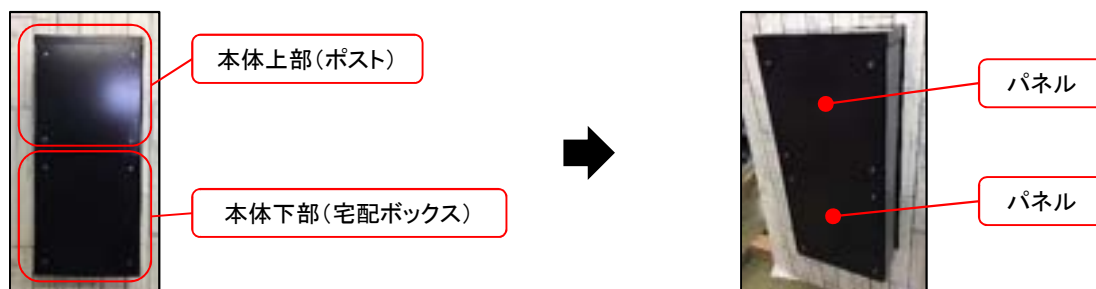
ツバを手前にして「サイドパネル」を「プッシュリベット」で固定します。

## 大工工事

【12】「本体」の上部ポストは表面に「パネル」を合わせて、ねじ4本で固定します。

下部宅配ボックスも同様に表面に「パネル」を合わせて、ねじ4本で固定します。

※「パネル」の固定は電動ドライバーを使用しないでください。



「本体」に「パネル」を合わせて、ねじ4本で固定する

「本体」に固定する「パネル」

- ・上部ポスト
- ・下部宅配ボックス

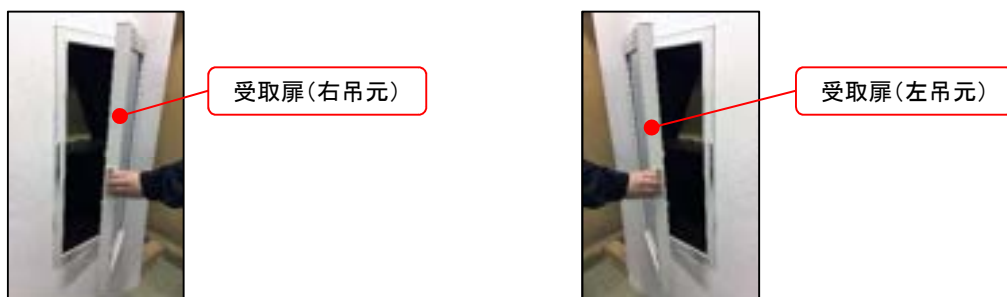
## 大工工事

**※以降の作業は住宅の内装仕上げ面を施工してから行います。**

【13】「受取扉」の吊元を決めます。

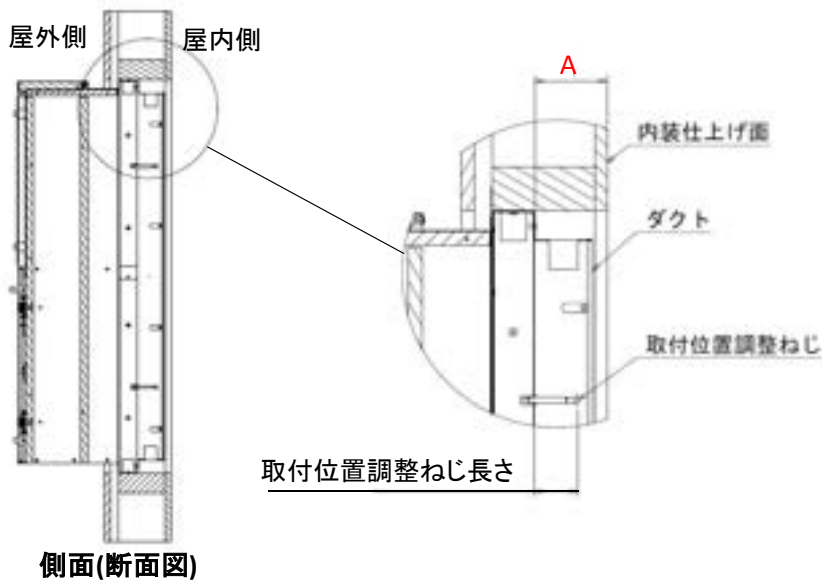
※「受取扉」は取り付け方向により、右吊元、左吊元、どちらもご使用可能です。

間取りに合わせて吊元をお選びください。

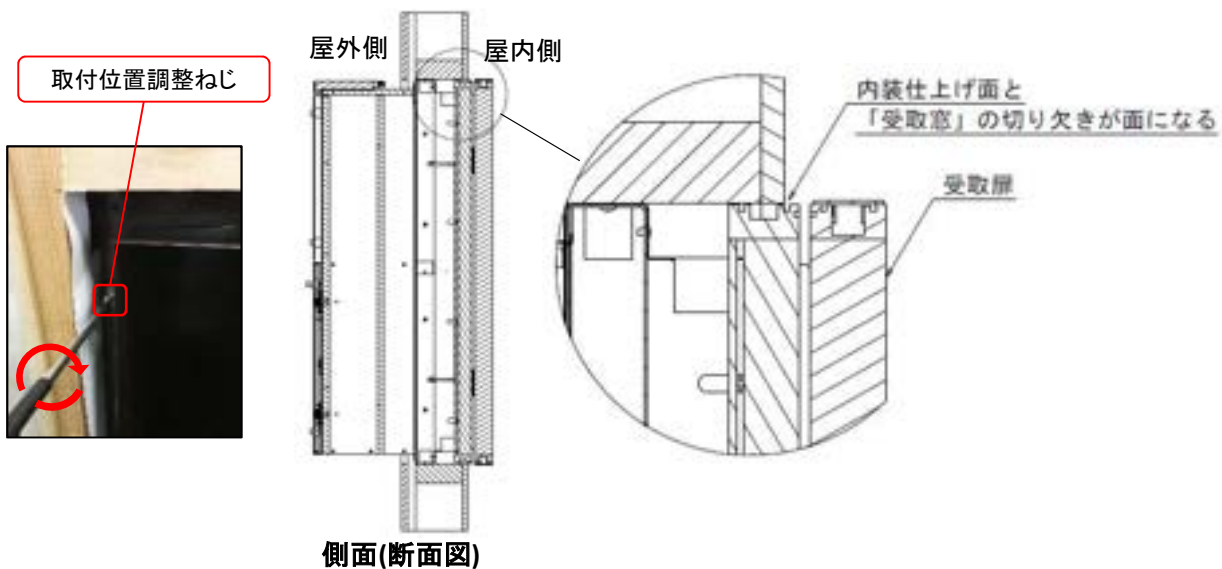


## 大工工事

【14】「受取扉」を壁の厚みに合わせて取り付けるため、「取付位置調整ねじ」の調整を行います。  
下図の「A」の長さを測り、以下の式で「取付位置調整ねじ長さ」を求めます。



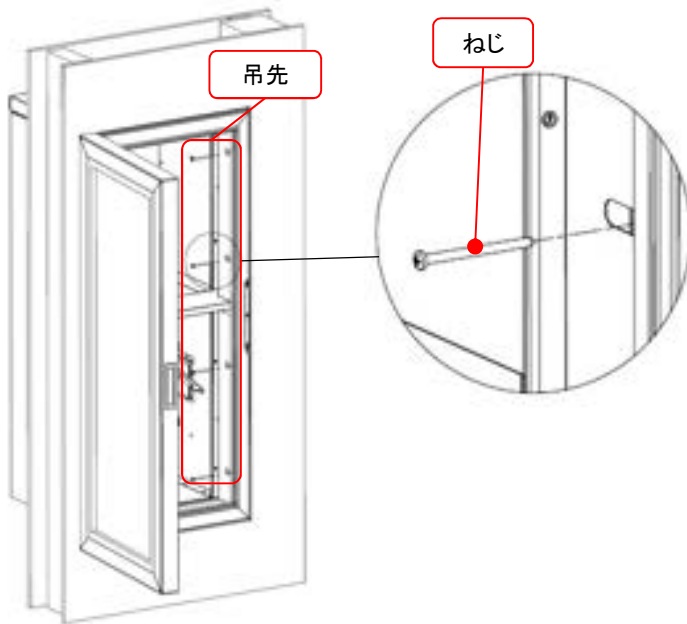
【15】プラスドライバーで4カ所の「取付位置調整ねじ」を回し、「取付位置調整ねじ長さ」を【14】で求めたに長さに調整します。  
調整後、「受取扉」を開口の奥まで差し込み、「受取扉」の位置が下図と同じになっていることを確認します。



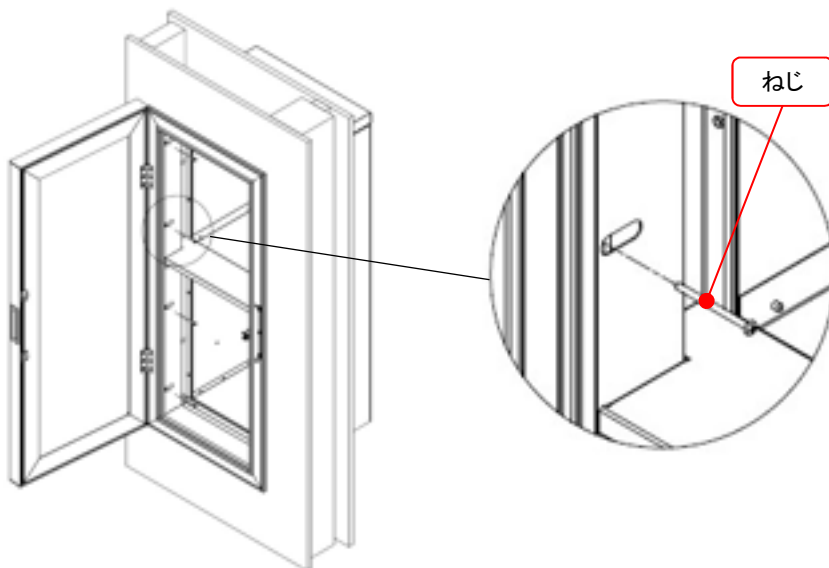
【16】「受取扉」を一旦開口から外し、溝外周にパッキンを4辺貼り付けます。  
※「パッキン」は上下左右でカットして使用します。  
※「パッキン」同士は突き当てて貼り付けます。  
※「パッキン」は貼り付け時の厚みから数時間かけて3倍以上に膨張します。  
膨張を妨げないように貼り付けてください。気密性と防水性に影響がでる場合があります。



【17】「受取扉」を開口の奥まで差し込み、吊先側の「ダクト」の長穴に向かって4本のねじでしっかり固定します。  
 ※仮止めではなくしっかりと締めて下さい。  
 ※吊元側のねじはまだ固定しないでください。扉の開閉がスムーズに行えなくなる可能性があります。



【18】「受取扉」を吊元側の「ダクト」の長穴に向かって4本のねじで固定します。  
 ※この作業には電動ドライバーを使わないでください、「受取扉」が歪む可能性があります。



【19】「受取扉」の開閉がスムーズに行えなることを確認して、作業終了。

●掲載内容に準じて手直しが必要になる場合がございます。予めご了承ください。

**Nasta** 株式会社ナスタ Nasta Co., Ltd. 本社 〒107-0062 東京都港区南青山5-1-3 TS AOYAMA 6F [www.nasta.co.jp](http://www.nasta.co.jp)

東京支店 Tel:03-3660-1815  
 北関東支店 Tel:048-553-1751  
 福岡支店 Tel:092-472-1088

大阪支店  
 横浜支店  
 リテール営業本部

Tel:06-6858-5671  
 Tel:045-474-0631  
 Tel:03-6778-2906

札幌支店 Tel:011-741-2250  
 名古屋支店 Tel:052-242-2272  
 リテール営業本部(関西) Tel:06-7653-9905

仙台支店 Tel:022-207-4700  
 広島支店 Tel:082-249-4651

ATS8002-001-009-01\_2021.10